

研究・調査報告書

報告書番号	担当
19	滋賀医科大学社会医学講座福祉保健医学部門
題名 (原題/訳)	
Recent trends in incidence rates for selected alcohol-related cancers in the United States. アルコールと関連を認める癌の罹患率 米国における最近の傾向	
執筆者	
Polednak AP.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Alcohol Alcohol. 2005. 40(3): 234-8	
キーワード	
アルコール がん 罹患率	
<p>要 旨</p> <p>米国の癌登録を用いて、アルコール飲酒と強く関連する癌の罹患率の最近の傾向を検討した。口腔、咽頭、喉頭、食道の扁平細胞癌の1992年から2001年の10年間における年齢調整年間発症率は減少傾向にあり、ここ数年も上昇傾向は認めなかった。この現象は20歳から54歳の若年成人でも同様に認められた。白人男性でも年齢調整年間罹患率は減少を認めた。いくつかの地域では大量飲酒者が増加しているが、年齢調整年間発症率は州ごとのアルコール消費量の減少と一致して減少していた。最近の年齢調整年間罹患率は停滞傾向を認めていないが、近年、多量飲酒が増加していることから、今後も継続的な検討が必要である。</p>	